

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 西淀川区

学 校 名 佃小学校

学校長名 伊藤 忠弘

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・佃小学校では、第6学年 30名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は65で、大阪市平均と同じ、全国平均をわずかに下回った。算数の平均正答率は47で、大阪市平均、全国平均を下回った。また理科の平均正答率も48で大阪市平均、全国平均を下回った。

児童質問紙調査では、朝食や起床時間などの日常生活に課題が見られた。自己肯定感に関する質問では、大阪市平均や全国平均を上回る項目が多かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「読むこと」の正答率が高い。文章を論理的に読み取る力の育成の成果であると考え。 「情報の扱いに関する事項」や「話すこと・聞くこと」の正答率が低い問題があった。話し合い活動の中で、発言の意図を汲み取ったり、情報と情報の関連を理解したりする力が弱いことが課題である。

〔算数〕

「思考・判断・表現」に関する正答率が低い。特に「データの活用」「変化と関係」の問題に課題が見られた。文章の中から問題の意図を読み取ることができていない。図形に関する問題の正答率が高い。

〔理科〕

「知識・技能」に関する問題の正答率が低い。電気を通す物や水の状態の変化など基礎的な知識を問う問題の誤答が多かった。長文の問題を読み取る力の不足が影響していると思われる。

質問調査より

朝食や起床時刻、就寝時刻の結果から、基本的な生活習慣に関する課題が見られた。学校では、落ち着いて学習に取り組むことができている。学習に対する意欲も高い。集団で話し合い、学びを深める姿勢も育ってきている。しかし、各教科の理解度に関する質問の結果が大阪市平均等を下回っていることから、基礎的な学力が身につけていないことが明らかになった。

「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがあると思うか」などの質問に関する回答は大阪市や全国平均と同程度で、例年より上昇した。引き続き、キャリア教育等を計画的に進めていく。

今後の取組(アクションプラン)

2年前より全学年で専科制を導入している。3年生以上では週に8時間程度の専科制を取り入れており、学級担任の空き時間をつくることで、教材研究や授業準備の時間を確保している。どの教員も丁寧な授業を行うことができている。子どもの学習に対する意欲は高いが、結果に結びついていないといえない。今後も専科制を継続させ、引き続き「楽しい・わかりやすい授業づくり」に向けて研究や研修を行い、各教員の指導力向上を図る。

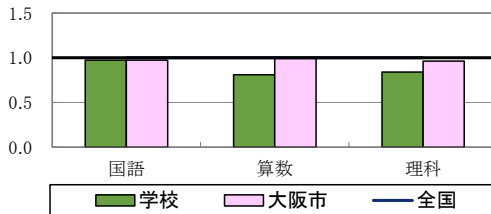
「校長経営支援戦略予算」や「ブロック化による学校支援事業」を活用し、全学年での漢字検定試験や英検ジュニアの受験を行うようにした。自主的に学習できる場の設定を行い、意欲をもって学習に取り組む仕組みを作り、学力の底上げをめざす。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	65	47	48
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

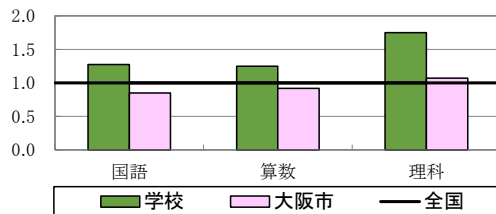
平均正答率(対全国比)



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	4.2	4.5	4.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

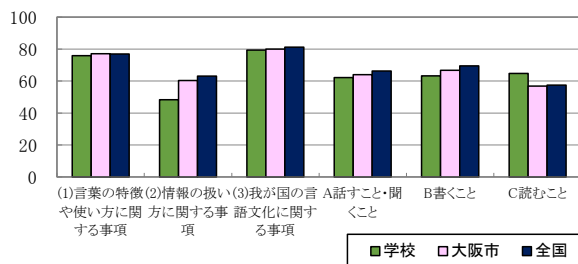
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	2	75.9	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	48.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	79.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	63.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	64.7	56.9	57.5

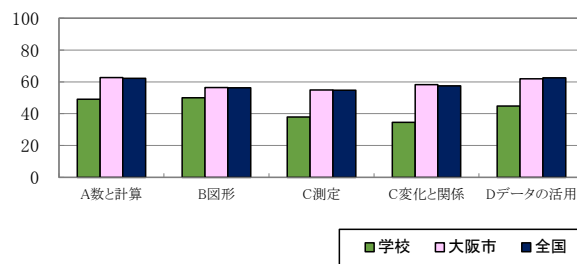
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



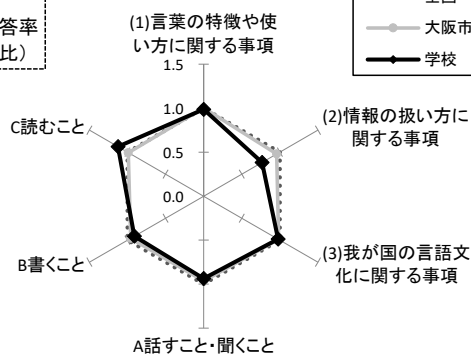
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	49.1	62.7	62.3
B 図形	4	50.0	56.4	56.2
C 測定	2	37.9	54.9	54.8
C 変化と関係	3	34.5	58.2	57.5
D データの活用	5	44.8	61.9	62.6

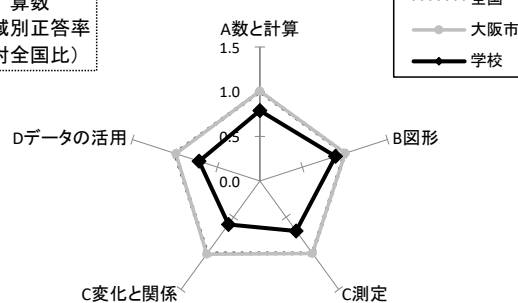
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率 (対全国比)

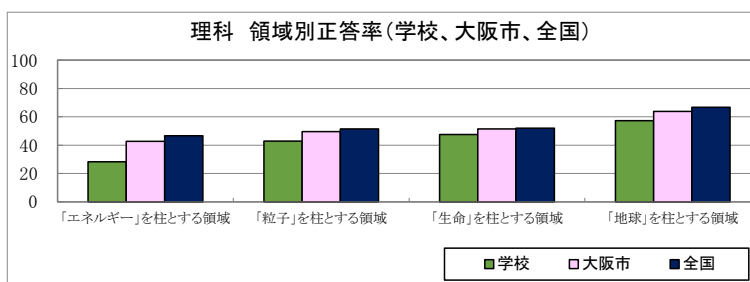


算数 領域別正答率 (対全国比)

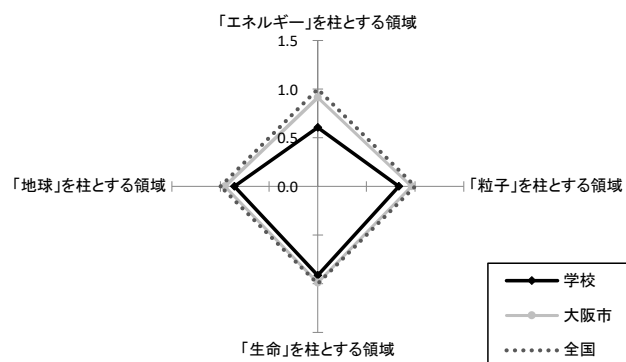


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	28.3	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	42.8	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	47.5	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	57.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

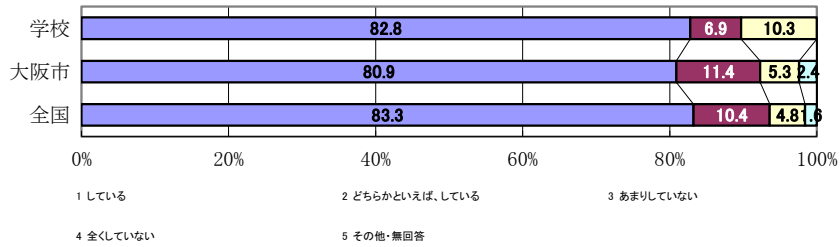
4

5

6

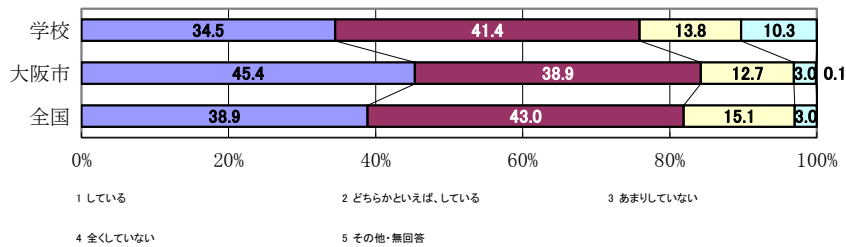
7

8



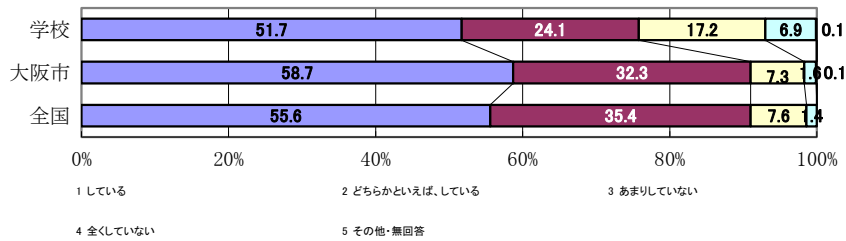
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



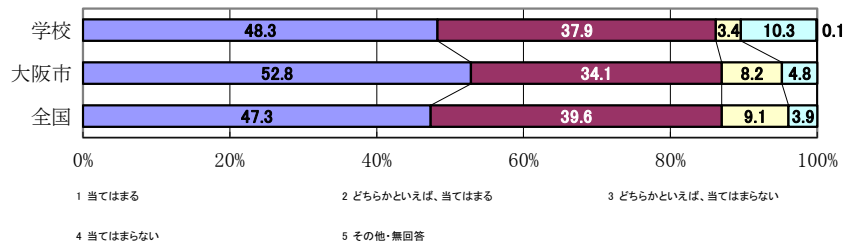
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



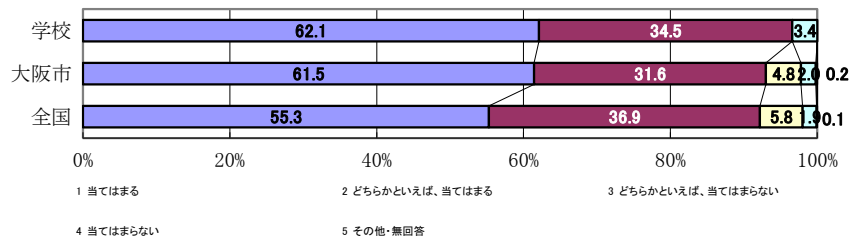
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



児童質問より

質問番号

質問事項

7

将来の夢や目標を持っていますか

1

2

3

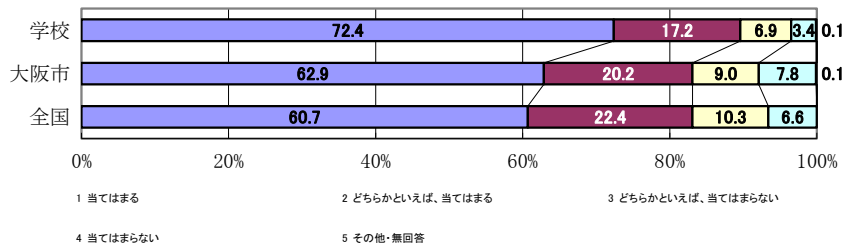
4

5

6

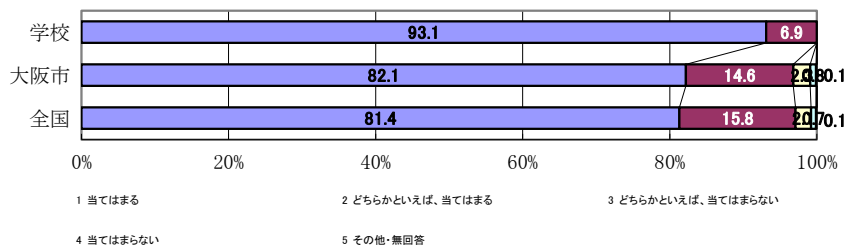
7

8



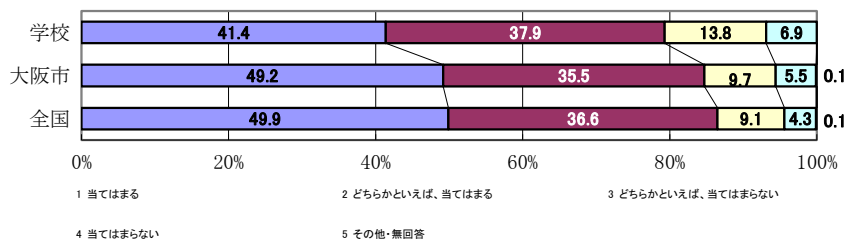
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



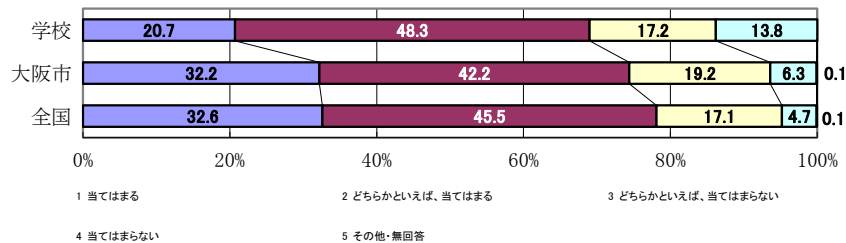
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



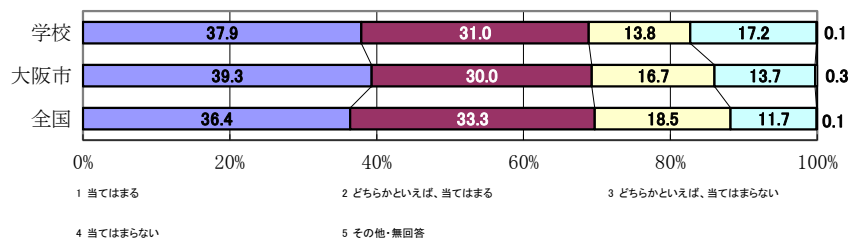
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



24

読書は好きですか



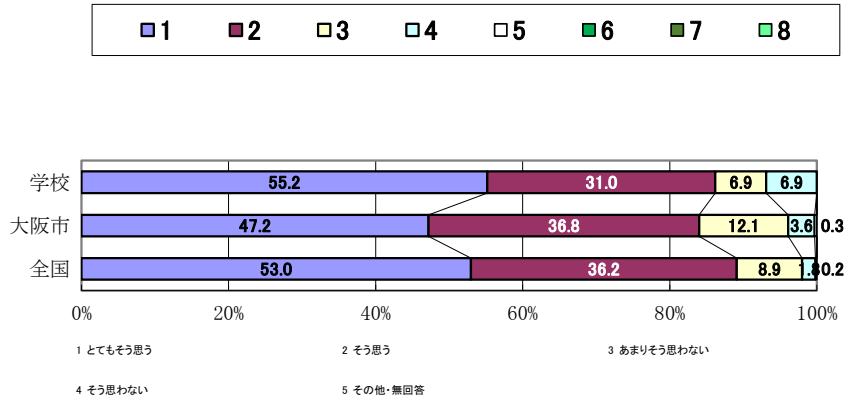
児童質問より

質問番号

質問事項

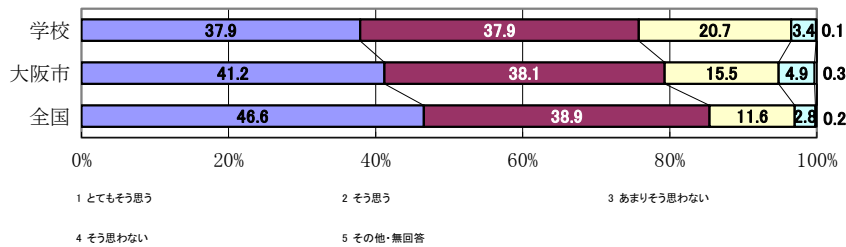
77

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる



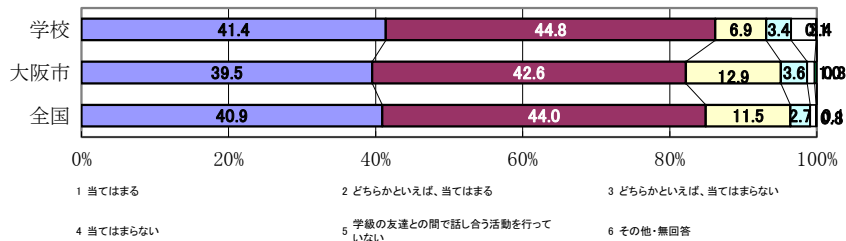
78

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる



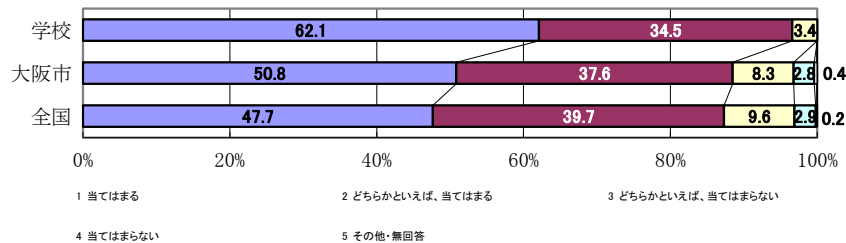
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



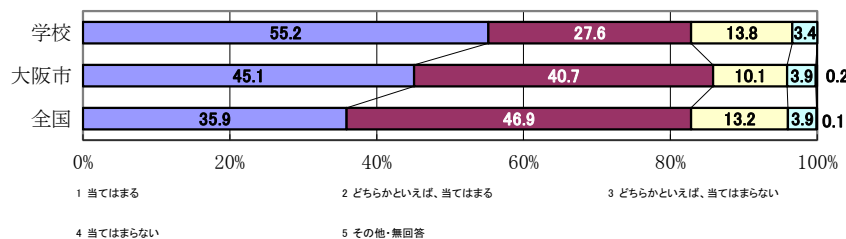
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



46

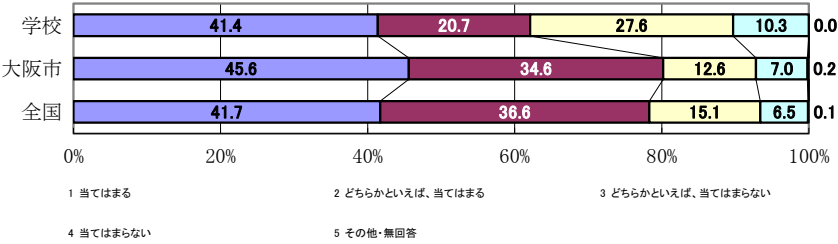
国語の授業の内容はよく分かりますか



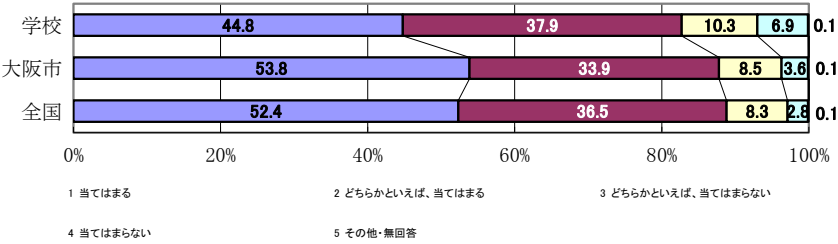
児童質問より

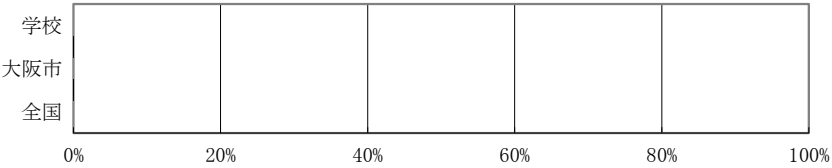
質問番号
質問事項

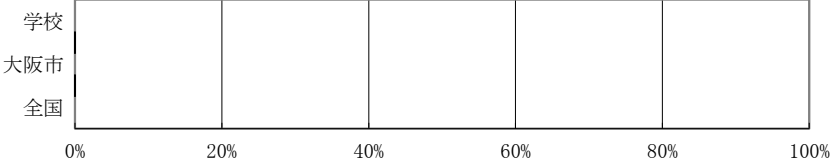
54
算数の授業の内容はよく分かりますか

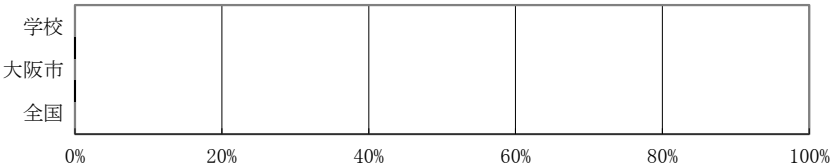


62
理科の授業の内容はよく分かりますか









学校質問より

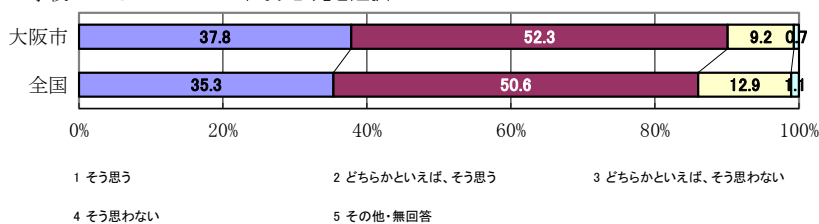
質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

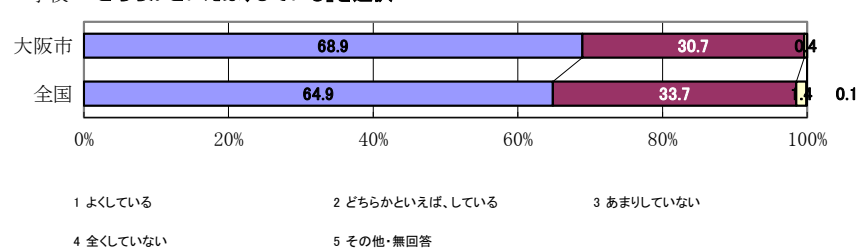
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

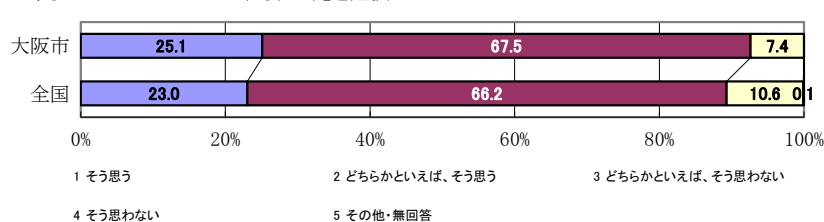
学校 「どちらかといえば、している」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか

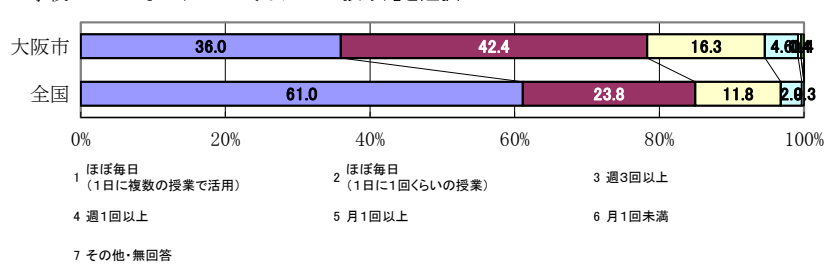
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択



学校 「」を選択

